

Mis días en México

今月はテストも終わり、長期休みに入ったので、たくさん国内旅行をしました。

クリスマスもあったため、fiesta に参加したり、友人とクリスマスパーティーを開いたり、とても楽しい休暇を過ごしました。

1. カンクン観光

12 月上旬、広島県推薦枠の 3 人で憧れのカンクンに旅行しました。

カンクンはメキシコ南東部にあるリゾート地で、透き通る美しい海が魅力の場所です。世界中から観光客が訪れる人気のスポットでもあります。

「Buen Fin」(メキシコのブラックフライデー)の期間中に予約したため、通常よりも安くホテルに宿泊できました。Buen Fin では、靴や服、日用品だけでなく、長距離バスやホテルも割引になるので、旅行の予約にはとてもおすすめです！

宿泊したのはオールインクルーシブホテルで、海が見える素敵なお部屋でした。海で泳ぐのを楽しみにしていましたが、カンクンの海は風が強く、波が高かったため、泳ぐにはあまり適していませんでした。

穏やかな海でゆっくり楽しみたい方には、カンクンからバスと船で約 1 時間の距離にあるイスラムヘーレスというリゾート島をおすすめします。この島のビーチは「世界で最も美しい島」とも言われ、その名の通り、非常に美しい景色が広がっていました。島自体は小さくなく、カンクンから日帰りで訪れることができ、短時間でリラックスできる素晴らしい場所でした。

カンクンに旅行する際に注意してほしいのが、カンクン国際空港から目的地までの移動手段です。在レオン総領事館のホームページにも記載がある通り、カンクンでは地元タクシーと Uber などの配車アプリサービスとの間でトラブルが頻発しており、様々な事件が発生してい

ます。そのため、空港から Uber タクシーを利用することはできません。

私たちは事前にこの情報を知らず、空港に到着後に Uber タクシーを利用しようとしたが、空港のタクシー会社の人々に何度も利用を止められ、疑問に思って調べた結果、空港では配車アプリを使用できないことが分かりました。しかし、移動手段がなかったため、最終的には空港の高額なタクシーを利用せざるをえませんでした…。空港からホテルゾーンに行くには、事前に調べて、ホテルの送迎サービスやシャトルバスを利用することをおすすめします。



(左)宿泊したホテルからの景色 (右)イスラ・ムヘーレスの海

2. オブレゴン観光

12 月下旬、念願だったメキシコ野球のウィンターリーグを観戦するため、メキシコ人の友人と日本人の友人と一緒に北部のソノラ州オブレゴン市を訪れました。

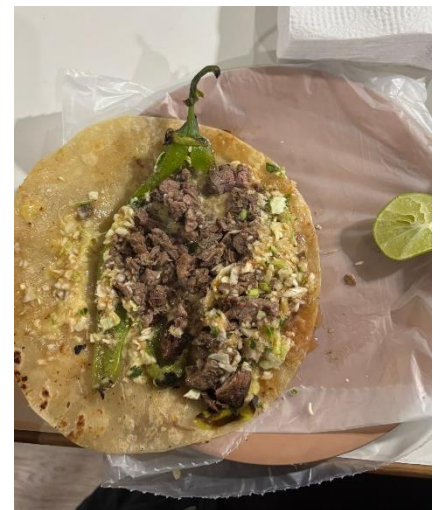
横浜 DeNA バイスターズの関根選手が所属している「ヤキス・デ・オブレゴン」の本拠地で試合を観戦し、試合前には関根選手にサインと、一緒に写真を撮っていただきました。お忙しい中、快く応じてくださり、本当に嬉しかったです。普段日本で応援している選手がメキシコで活躍する姿を直接見ることができ、感激しました。

試合後、球場内でコンサートが行われ、観客たちが一斉に踊り出し、賑やかで楽しい雰囲気を

を楽しむことができました。

ソノラ州で色々な料理を食べましたが、一番美味しかったのはタコスです。メキシコのタコスは地域によって大きさや味が異なるそうで、今回私が食べたタコスは、メキシコシティでよく食べているものとは全く違いました。私の手のひらより大きく、中には唐辛子がまるごと 1 本入っていました。お肉の味付けも独特で、うまみがあり、今まで食べた中で一番美味しかったです。

ソノラ州は何度も訪れたいと思うほど素敵な場所で、大好きになりました。ただし、治安の悪い地区も多いため、事前に安全な場所と危険な場所を把握することが重要です。また、現地の人やその地域をよく知っている人と一緒に行動することも大切です。



(左)試合のチケットと球場の様子 (中)サインをいただいた帽子 (右)オブレゴンのタコス

3. メキシコシティの美術館・博物館

メキシコシティは、世界的にも美術館や博物館が多い街だということをご存知ですか？その数はなんと 140 以上とも言われています(諸説あり)。実際、街の中心部に行くと、あちこちで様々なジャンルの美術館を目にします。

メキシコシティでは、日曜日に多くの美術館が入場無料になります。また、CEPE の学生証

があれば、平日でも一般料金の半額以下や無料で入場できることが多く、気に入った美術館を何度も訪れて新しい発見を楽しむことができます。

私が12月に行った中で最も印象に残っているのは、「Museo Memoria y Tolerancia」です。この博物館は、ホロコーストや他のジェノサイド、迫害についての展示があり、写真や映像資料を通じて歴史的出来事を視覚的に体験できます。実際の証言や遺物に触れることで、過去の悲劇や人権の重要性を深く理解することができました。



(左)ホロコーストの写真とともに「誰が生きるべきで、誰が死ぬべきか？」と書かれてある

(右)ユダヤ人差別に関する展示

4. 日本からメキシコに荷物は送れる？

私はメキシコに行く前、日本から荷物を送ることができるのか、きちんと届くのか気になっていました。そこで、実際に日本から荷物を送ってもらった経験をもとにお話したいと思います。

私は日本から EMS(国際スピード郵便)で服などの必要なものを送ってもらいました。EMSは配達状況も確認できるので安心して利用できます。

メキシコでは、届け先を住んでいる家の住所に設定すると、届かないことがあるようです。そ

のため、私は大学内にある郵便局を受け取り場所として指定しています。（※受け取りの際には、写真付きの身分証が必要）

これまでに 2～3 回送ってもらいましたが、どれもおよそ 1 か月ほどで無事に到着しています。ただし、一度だけ荷物が大学内の郵便局ではなく、誤って別の場所に届いてしまったことがあります。そのようなトラブルが発生した際には、

mexpostpreferente@correosdemexico.gob.mx に問い合わせると対応してもらえます。この情報が、今後の日墨生の皆さんの参考になれば幸いです。

おわりに

2024 年は本プログラムを通じて、日墨生や現地で出会った方々とのご縁に恵まれ、非常に実り多い 1 年となりました。1 月からは新学期が始まるので、さらに成長していけるよう努力を重ねていきます。